

病防第27号
平成30年5月31日

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

平成30年度病虫害発生予察注意報第1号
(果樹カメムシ類)

平成30年度病虫害発生予察注意報第1号

平成30年5月31日
岐 阜 県

作物名 果樹 (モモ、ナシ、カキ、リンゴ、ミカン等)

病虫害名 果樹カメムシ類 (主にチャバネアオカメムシ越冬世代成虫)

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 6月上旬～

3 発生程度 多い

4 予報の根拠

- (1) カメムシ類によるサクラ果実の吸汁率は、5月下旬の調査において岐阜市、美濃加茂市で果樹園への飛来の目安となる80%を超えている (表)。
- (2) チャバネアオカメムシのフェロモントラップおよび予察灯による調査では、5月第4半旬に誘殺数が急増している (図)。
- (3) 一部の果樹園では、すでに飛来が確認されており、気温の上昇とともに、飛来数が多くなる可能性が高い。
- (4) 名古屋地方気象台の1か月予報 (5月24日発表) では、気温は平年より高いと予想されており、本虫の活動に好適な条件となるため、被害の発生が懸念される。

5 防除上の注意事項

- (1) 果樹カメムシ類の被害の発生には地域差や園地差があるので、園内へ飛来を確認したら防除を実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
- (2) 果樹カメムシ類の飛来は夜温及び湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
- (3) 防除に当たっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止に努める。
- (4) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報 (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センター) を参照し、適正に使用する。

表 カメモシ類によるサクラ果実吸汁率

調査地域	調査地点	吸汁率
岐阜・西濃	岐阜市椿洞	96.7%
	池田町大津谷	80.0%
中濃	美濃加茂市山之上	87.8%
	美濃市曾代	75.0%

調査日（岐阜・西濃、中濃）：5月22日

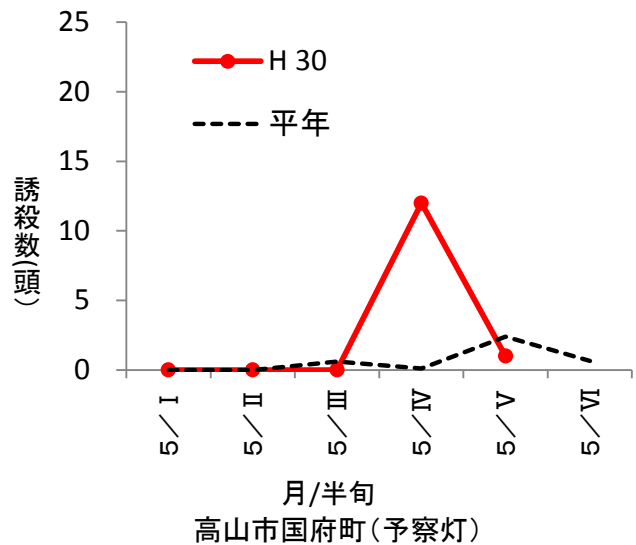
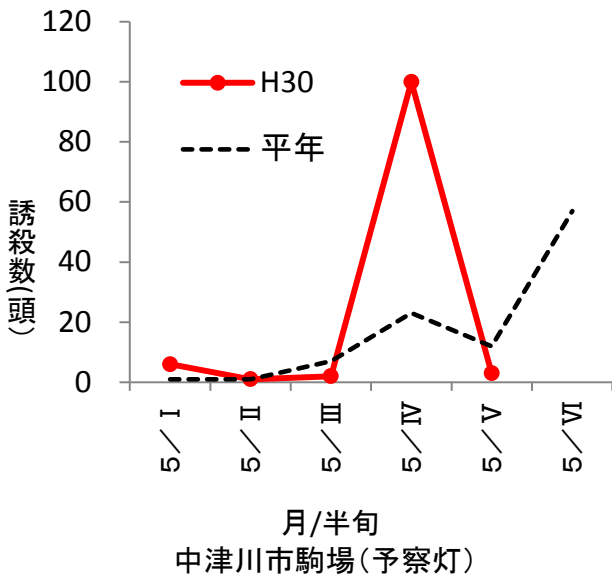
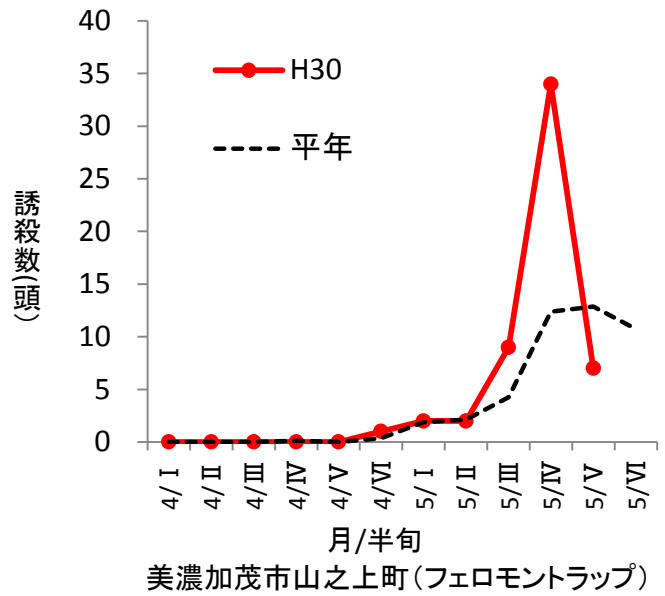
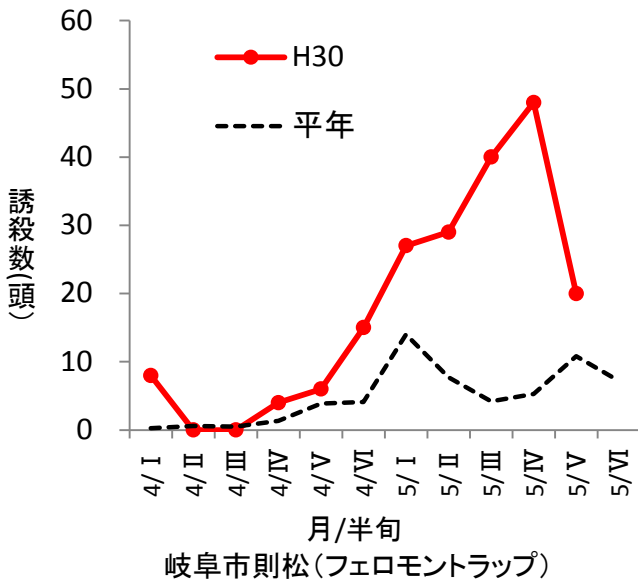


図 チャバネアオカメモシの予察灯・フェロモントラップ誘殺数の推移